

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 理論経済	マクロ経済学 I	松田 慎一	1 年次	秋

授業のキーワード	国民所得、総需要と総供給、政府の役割
授業の概要	マクロ経済学は、一国の経済全体がどのように活動しているのか、説明する学問です。授業目標は、国民所得、総需要と総供給、政府の役割について理解できるようにすることです。本講義は、マクロ経済学の前半部分である乗数定理まで説明する予定です。
期待される学習成果（目標）	日本経済論（1年次春学期の基礎科目）を履修済みで、その基本的な内容について理解があることが必要です。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	授業概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。	第9講	マクロ経済における需要と供給	マクロ経済における総需要と総供給について説明します。
第2講	国民所得の概念（1）	国民所得に関する概念を説明します。	第10講	国民所得の決定理論（1）	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明します。
第3講	国民所得の概念（2）	国民所得に関する概念を説明します。	第11講	国民所得の決定理論（2）	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明します。
第4講	物価とは、名目と実質の違い（1）	名目と実質の違いについて説明します。	第12講	国民所得の決定理論（3）	国民所得の決定と政府の役割について説明します。
第5講	物価とは、名目と実質の違い（2）	名目と実質の違いについて説明します。	第13講	インフレギャップとデフレギャップ	インフレギャップとデフレギャップについて説明します。
第6講	消費の理論	ケインズの消費の理論について説明します。	第14講	インフレギャップとデフレギャップ	ギャップの計算方法について説明します。
第7講	貯蓄の理論	消費と貯蓄の関係および貯蓄の決定について説明します。	第15講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第8講	租税とは	租税が消費や貯蓄に与える影響について説明します。	定期試験		授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法		授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			ステイグリッツ/ウォルシュ『マクロ経済学』第3版, 東洋経済新報社 中谷巖『マクロ経済学入門』日経文庫 伊藤元重『マクロ経済学』日本経済評論社		